

注3

大学番号：国038

[平成28年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 医学専攻  
(博士課程)

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 金沢大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	総務部総務課
職名・氏名	政策調整係 <small>ミシマ</small> 三島 <small>タクヤ</small> 卓也
電話番号	076-264-5114
(夜間)	076-264-5114
FAX	076-234-4010
e-mail	seisaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。



# 目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等 . . . . .	1
2. 授業科目の概要 . . . . .	5
3. 施設・設備の整備状況、経費 . . . . .	12
4. 既設大学等の状況 . . . . .	12
5. 教員組織の状況 . . . . .	13
6. 留意事項等に対する履行状況等 . . . . .	16
7. その他全般的事項 . . . . .	21



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 金沢大学

## (2) 大学名

金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科

## (3) 大学の位置

〒920-8640 石川県金沢市宝町13番1号  
(本部 : 〒920-1192 石川県金沢市角間町 )

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ヤマザキ コウエツ) 山崎 光悦 (平成26年4月)		
研究科長	(ホリ オサム) 堀 修 (平成28年4月)		
専攻長	同上		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
医薬保健学総合研究科 医学専攻(博士課程)  博士(医学)	医学関係	4	64	256	基礎となる学部等 医薬保健学域医学類

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	64 ( - ) [ - ]		64 ( - ) [ - ]						0.90倍	
志願者数	57 ( - ) [ 5 ]	23 ( - ) [ 14 ]	42 ( - ) [ 8 ]							
受験者数	57 ( - ) [ 5 ]	22 ( - ) [ 14 ]	42 ( - ) [ 8 ]							
合格者数	57 ( - ) [ 5 ]	22 ( - ) [ 14 ]	42 ( - ) [ 8 ]							
B 入学者数	54 ( - ) [ 4 ]	21 ( - ) [ 13 ]	41 ( - ) [ 8 ]							
入学定員超過率 B/A	1.17		0.64							

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 4 ] ( - ) 54	[ 13 ] ( - ) 21	[ 8 ] ( - ) 41	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
2年次	/		[ 4 ] ( - ) 53	[ 13 ] ( - ) 21	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
3年次	/		/		[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
4年次	/		/		/		[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
計	[ 17 ] ( - ) 75	[ 25 ] ( - ) 115	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	75 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	進路変更(1人)	1.33 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	41 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	116 人	1 人					0.86 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他



## 2 授業科目の概要

### <医薬保健学総合研究科医学専攻>

#### (1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎 科目 群	論文演習	1前or後		1								兼1
	医学統計学演習	1前or後		1								兼1
	細胞培養法	1前or後		1								兼1
	細胞培養法実習	1前or後		1								兼1
	微生物培養法	1前or後		1		1						
	微生物培養法実習	1前or後		1		1						
	形態解析研究法	1前or後		1								兼1
	形態解析研究法実習	1前or後		1								兼1
	遺伝子操作実験法	1前or後		1		1						
	遺伝子操作実験法実習	1前or後		1		1						
	生化学分子生物学研究法	1前or後		1								兼1
	生化学分子生物学研究法実習	1前or後		1								兼1
	免疫学研究法	1前or後		1		1						
	免疫学研究法実習	1前or後		1		1						
	トレーサー実験法	1前or後		1								兼1
	トレーサー実験法実習	1前or後		1								兼1
	実験動物学	1前or後		1		1						
	実験動物学実習	1前or後		1		1						
	発生工学基礎技術コース	1・2前or後		1		1						
	遺伝子工学基礎技術コース	1・2前or後		1		1						
	社会医学研究法	1前or後		1								兼1
	社会医学研究法実習	1前or後		1								兼1
	分子生物学入門	1前or後		1		1						
	分子腫瘍学特論	1前or後		1		+						兼1 教員の異動に伴う担当の変更(29)
臨床統計学特論	1前or後		1								兼1	
臨床栄養学特論	1前or後		1				1					
臨床統計学演習	1前or後		1								兼1	
レギュラトリーサイエンス特論	1後		2								兼1	
研究者として自立するために 研究倫理	1前or後	1			2						兼0 教育内容充実のため専任教員を配置(29) 兼0 教育内容の見直しによる科目名及び開講時期の変更(29)	
環境と健康総論	1後		2								兼1	
領域 融合	基礎系領域融合セミナー	1・2前or後		2		+						兼1 担当教員の異動に伴う教員配置の変更(28)
	臨床系領域融合セミナー	1・2前or後		2		1						
	メディカル・イノベーションセミナー	1・2前or後		2		1						
	レギュラトリー・サイエンスセミナー	1・2前or後		2		1						
	医学系セミナー	1・2前or後		2		1						
	がん研セミナー	1・2前or後		2		1						兼1
	メディカルサイエンスセミナー	1・2前or後		2		1						
	アドバンスド・メディカルサイエンスセミナー	1・2前or後		2		1						
							1					
	学際センターセミナー	1・2前or後		2		+						兼0 教育内容充実のため専任教員を配置(29) 兼0 担当教員の異動に伴う教員配置の変更(28)
	メディカルインフォーマティクス	1・2前or後		2		1						
チーム医療論	1・2前or後		2		1							
プレゼンテーション方法論	1・2前or後		2		1							
最新医学 セミナー 科目	先端医学セミナー	1・2前or後		10		1						
	Up-to-dateセミナー	1・2前or後		2		1						
	組織発達構築学特論	1~2通		12		+		1				専任教員の追加及び担当教員の異動に伴う変更(29)
	細胞増殖調節学	1・2前or後		6		+		1				専任教員の追加及び担当教員の異動に伴う変更(29)
								1				専任教員の追加及び担当教員の異動に伴う変更(29)
	組織発生分化学	1・2前or後		6		+	+					担当教員の異動に伴う変更(28)
	機能解剖学特論	1~2通		12								兼1
	疼痛学	1・2前or後		4								兼1
	自律神経学	1・2前or後		4								兼1
	臨床解剖学	1・2前or後		4								兼1
	神経分子標的学特論	1~2通		12		1						
	神経発生解剖学	1・2前or後		4				1				
	脳循環代謝学	1・2前or後		4		1						
	神経細胞死制御学	1・2前or後		4		1		1				

基礎医学系科目

血管情報伝達学特論	1～2通	12	1	1					1			担当教員の異動に伴う変更(29)
循環生理学	1・2前or後	6	1	1								
血管増殖調節学	1・2前or後	6	1	+								担当教員の異動に伴う変更(29)
分子神経科学・統合生理学特論	1～2通	12	+	+								担当教員の職位の変更(29)
神経可塑性機能論	1・2前or後	4	+	+								担当教員の異動に伴う変更(28)
シナプス機能解析学	1・2前or後	4	+	+								担当教員の職位の変更(29)
神経回路発達学	1・2前or後	4	+	+								担当教員の職位の変更(29)
分子遺伝学特論	1～2通	12										担当教員の異動に伴う変更(28)
遺伝生化学	1・2前or後	6										担当教員の異動に伴う変更(28)
遺伝情報解析学	1・2前or後	6										担当教員の異動に伴う変更(28)
血管分子生物学特論	1～2通	12	1									
血管細胞生物学	1・2前or後	6	1									
分子医化学	1・2前or後	6	1									
分子情報薬理学特論	1～2通	12	+	1								担当教員の異動に伴う変更(28)
細胞シグナル伝達学	1・2前or後	6	+	1								担当教員の異動に伴う変更(28)
細胞分子機能学特論	1～2通	12	1									教育内容充実のため科目の追加(28)
分子細胞病理学特論	1～2通	12	1									
神経病理学	1・2前or後	6	1									
分子病理学	1・2前or後	6	1									
形態機能病理学特論	1～2通	12	1	1	1							
分子免疫病理学	1・2前or後	4	1	1	1							
がん形質発現学	1・2前or後	4	1	1	1							
組織細胞形態診断学	1・2前or後	4	1	1	1							
細菌感染症制御学特論	1～2通	12	1		+							担当教員の異動に伴う変更(28)
細菌遺伝学	1・2前or後	6	1		+							担当教員の異動に伴う変更(28)
国際細菌感染症学	1・2前or後	6	1		+							担当教員の異動に伴う変更(28)
寄生虫感染症制御学特論	1～2通	12			+							担当教員の異動に伴う変更(28)
衛生動物学	1・2前or後	6										
国際寄生虫感染症学	1・2前or後	6										
ウイルス感染症制御学特論	1～2通	12										
ウイルス遺伝学	1・2前or後	6										
ウイルス化学療法学	1・2前or後	4										
国際ウイルス感染症学	1・2前or後	2										
再生分子医学特論	1～2通	12	1	1								
分子細胞病因学	1・2前or後	4	1	1								
分子細胞再生学	1・2前or後	4	1	1								
器官再生・造形成学	1・2前or後	4	1	1								
脳細胞遺伝子学特論	1～2通	12	1	1								
脳細胞生物学	1・2前or後	4	1	1								
脳細胞遺伝子機能学	1・2前or後	4	1	1								
脳細胞生化学	1・2前or後	4	1	1								
革新ゲノム情報学特論	1～2通	12										兼2
免疫生体防御学特論	1～2通	12	+									兼1
遺伝子改変動物学特論	1～2通	12	1	1								兼1
実験動物学特論	1・2前or後	4	1	1								兼1
神経発生学特論	1～2通	12	1									兼1
代謝生理学特論	1～2通	12										兼1
細胞代謝栄養学特論	1～2通	12										兼1
分子形態学特論	1～2通	12	1									
がん細胞生物学	1・2前or後	6	1									
シグナル伝達学特論	1～2通	12	1									
遺伝子機能解析学	1・2前or後	6	1									
細胞機能学特論	1～2通	12	1									
癌浸潤転移分子学	1・2前or後	6	1									
生体防御機構学特論	1～2通	12	1									
細胞死分子生物学	1・2前or後	6	1									
サイトカイン学特論	1～2通	12	1									
分子生体応答学	1・2前or後	6	1									
幹細胞生物学特論	1～2通	12										兼1
遺伝子発現学	1・2前or後	6										兼1
分子腫瘍発生学特論	1～2通	12										兼1
がん分子病理学	1・2前or後	6										兼1
腫瘍分子生物学特論	1～2通	12	1									
がん分子生物学	1・2前or後	6	1									
臨床分子腫瘍学特論	1～2通	12	1									
腫瘍制御学	1・2前or後	6	1									
腫瘍生物学特論	1～2通	12	1									
分子再生医学	1・2前or後	6	1									

	腫瘍ウイルス学特論	1～2通	12	1						
	ゲノム情報生物学	1・2前or後	6	1						
	腫瘍内科学特論	1～2通	12	1		2				
	分子薬物治療学	1・2前or後	6	1		2				
社会医学系科目	環境生体分子応答学特論	1～2通	12						兼1	
	環境認知学	1・2前or後	4		1				兼1	
	生体応答学	1・2前or後	4		1				兼1	
	環境評価学	1・2前or後	4		1				兼1	
	環境生態医学・公衆衛生学特論	1～2通	12						兼1	
	環境障害発生論	1・2前or後	4						兼1	
	環境産業中毒学	1・2前or後	4						兼1	
	環境生理学	1・2前or後	2						兼2	
	実験環境疫学	1・2前or後	2			1			兼1	
	法・社会環境医学特論	1～2通	12	1	1					
	法医病理学	1・2前or後	4	1						
	法医遺伝・鑑識学	1・2前or後	4	1	1					
	法医中毒学	1・2前or後	4	1	1					
	医薬情報統御学特論	1～2通	12	1	1					
	薬物間相互作用論	1・2前or後	6	1	1					
	薬物療法科学	1・2前or後	6	1	1					
	医療経営学特論	1～2通	12	1						
	医療安全管理学	1・2前or後	2	1						
	医療マーケティング	1・2前or後	2	1						
	医療経営学	1・2前or後	2	1						
臨床開発システム構築学特論	1～2通	12	1							
国際保健学特論	1～2通	12							配当年次及び単位数の誤記による修正 (28) 兼1 教育内容充実のため科目の追加 (29)	
内科学系科目	恒常性制御学特論	1～2通	12	1					兼1	
	消化器病学	1・2前or後	2	1					兼1	
	遺伝子発現制御学	1・2前or後	4			1			兼1	
	腎臓病学	1・2前or後	2		1				兼1	
	消化管遺伝子治療学	1・2前or後	4						兼1	
	臓器機能制御学特論	1～2通	12	1						
	循環器病学	1・2前or後	4	1	1					
	内分泌代謝学	1・2前or後	8		1					
	細胞移植学特論	1～2通	12	1						
	呼吸器病学	1・2前or後	2		1					
	血液病学	1・2前or後	2	1						
	幹細胞制御学	1・2前or後	2	1						
	移植血管情報学	1・2前or後	2		1					
	細胞分化制御学	1・2前or後	2	1						
	移植炎症制御学	1・2前or後	2	1						
	呼吸器内科学特論	1～2通	12		1					教育内容充実のため科目の追加 (28)
	脳老化・神経病態学特論	1～2通	12	1	1					
	神経内科学	1・2前or後	6	1	1					
	神経分子病態学	1・2前or後	6	1	1					
	脳情報病態学特論	1～2通	12	1						
	精神神経科学特論	1・2前or後	4	1						
	脳変性疾患病態学	1・2前or後	4		1					
	情報認知医学	1・2前or後	2	1	1					
	脳情報伝達解析学	1・2前or後	2	1						
	臨床認知科学特論	1～2通	12	1						教育内容充実のため科目の追加 (29)
	発生発達病態学特論	1～2通	12	1						
	小児血液腫瘍学	1・2前or後	4	1						
	先天性代謝病学	1・2前or後	4	1		1				
	小児科学	1・2前or後	4	1						
	画像診断治療学特論	1～2通	12	1	1					教育内容充実のため担当教員の追加 (29)
	放射線診断学	1・2前or後	4			1				
	血管内治療学	1・2前or後	4		1	1				
	磁気共鳴診断学	1・2前or後	2	1						
	画像診断学	1・2前or後	2	1						
					1		2			担当教員の異動に伴う教員配置の変更 (29) 講師の担当教員数の誤記による修正 (29)
						+				
						+				
						+				
						+				
	バイオレーザー診療学特論	1～2通	12						兼1 担当教員の異動に伴う変更 (28)	
				1		2			講師の担当教員数の誤記による修正 (29) 担当教員の異動に伴う教員配置の変更 (29)	
						+				
	バイオレーザー測定技術学	1・2前or後	2			+			兼1 担当教員の異動に伴う変更 (28)	

					1		2			担当教員の異動に伴う教員配置の変更(29) 講師の担当教員数の誤記による修正 (29)	
	臨床腫瘍核医学	1・2前or後	4				+			兼1 担当教員の異動に伴う変更(28)	
	がん親和性放射性医薬品学	1・2前or後	2		1		+			兼1 担当教員の異動に伴う変更(28) 担当教員の異動に伴う教員配置の変更(29) 講師の担当教員数の誤記による修正 (29)	
	バイオレーザー画像解析学	1・2前or後	2		1		+			兼1 担当教員の異動に伴う変更(28) 担当教員の異動に伴う教員配置の変更(29) 講師の担当教員数の誤記による修正 (29)	
	バイオレーザー情報処理学	1・2前or後	2				+			兼1 担当教員の異動に伴う変更(28)	
	血管新生学・結合組織代謝学特論	1～2通	12	1			+				
	膠原病学	1・2前or後	3		1						
	皮膚病学特論	1・2前or後	3		1						
	皮膚腫瘍学	1・2前or後	3					1			
	皮膚免疫学	1・2前or後	3			1					
	血液情報統御学特論	1～2通	12	1	1					兼0 担当教員の異動に伴う教員配置の変更(29)	
	臨床検査学	1・2前or後	6	1	1					兼0 担当教員の異動に伴う教員配置の変更(29)	
	細菌検査学	1・2前or後	2	1	1					兼0 担当教員の異動に伴う教員配置の変更(29)	
	内分沁断学	1・2前or後	4	1	1					兼0 担当教員の異動に伴う教員配置の変更(29)	
	包括的代謝学特論	1～2通	12							兼2	
外科系科目	心肺病態制御学特論	1～2通	12	1	1		2			講師の担当教員数の誤記による修正 (29)	
	心血管外科学	1・2前or後	6	1			+			担当教員の異動に伴う変更(28)	
	呼吸器外科学	1・2前or後	6	1	1	1					
	がん局所制御学特論	1～2通	12	1	1						
	胃癌発生論	1・2前or後	2			1					
	肝癌外科学	1・2前or後	4				1				
	胆道癌外科学	1・2前or後	4					1			
	内分泌外科学	1・2前or後	2		1						
	消化管外科・腫瘍学特論	1～2通	12		1					教育内容充実のため科目の追加 (28)	
	機能再建学特論	1～2通	12		1	1				兼1	
	骨・軟骨分子病態生理学	1・2前or後	2		1	1				兼1	
	骨・軟骨・関節再生医学	1・2前or後	4		1	1				兼1	
	筋骨格系生体力学	1・2前or後	2		1	1				兼1	
	脊髄・末梢神経再生医学	1・2前or後	4		1	1				兼1	
	リハビリテーション医学特論	1～2通	12			1				科目名の誤記による修正 (28) 教育内容充実のため科目の追加 (28)	
						1		1			担当教員の職位の変更 (29)
								+			講師の担当教員数の誤記による修正 (29)
								+			担当教員の異動に伴う変更(28)
		脳・脊髄機能制御学特論	1～2通	12	1						
		脳腫瘍学	1・2前or後	4	1						
		脳卒中病態制御学	1・2前or後	2				1			
		臨床神経内分泌学	1・2前or後	2		1		+			担当教員の職位の変更 (29)
		神経機能再生学	1・2前or後	2	1						
		脳血管外科学	1・2前or後	2					1		
						1					担当教員の職位の変更 (29)
		集学的治療学特論	1～2通	12	+	+					担当教員の異動に伴う変更(28)
		がん化学療法学	1・2前or後	4		1	1				
					1						担当教員の職位の変更 (29)
		がん温熱療法学	1・2前or後	2	+	+					担当教員の異動に伴う変更(28)
		がん放射線治療学	1・2前or後	2		1	1				
					1						担当教員の職位の変更 (29)
		がん遺伝子治療学	1・2前or後	2	+	+	1				担当教員の異動に伴う変更(28)
				1						担当教員の職位の変更 (29)	
	泌尿器外科学	1・2前or後	2	+	+					担当教員の異動に伴う変更(28)	
	視覚科学特論	1～2通	12	1							
	視覚情報伝達再建学	1・2前or後	4					1			
	網膜病態機能解析学	1・2前or後	2	1							
	視器細胞制御学	1・2前or後	2	1							
	網膜病態細胞解析学	1・2前or後	2					1			
	視覚光学構築再建学	1・2前or後	2					1			

	感覚運動病態学特論	1～2通	12	1	1	2 +			講師の担当教員数の誤記による修正 (29) 担当教員の異動に伴う変更 (28)
	感覚器腫瘍外科学	1・2前or後	4	1	1	2 +			講師の担当教員数の誤記による修正 (29) 担当教員の異動に伴う変更 (28)
	嗅覚機能病態解析学	1・2前or後	4	1	1	2 +			講師の担当教員数の誤記による修正 (29) 担当教員の異動に伴う変更 (28)
	音声言語機能外科学	1・2前or後	2	1	1	2 +			講師の担当教員数の誤記による修正 (29) 担当教員の異動に伴う変更 (28)
	口腔咽頭腫瘍学	1・2前or後	2	1	1	2 +			講師の担当教員数の誤記による修正 (29) 担当教員の異動に伴う変更 (28)
	女性生殖臓器病態学特論	1～2通	12	1					
	婦人科腫瘍学	1・2前or後	2				1		
	分子情報学	1・2前or後	4			+	1		担当教員の異動に伴う変更 (29)
	分子動態学	1・2前or後	4			+	1		担当教員の異動に伴う変更 (29)
	分子診断治療学	1・2前or後	2				1		
	周術期管理学特論	1～2通	12	1	2				
	麻酔学特論	1・2前or後	4	1	1				
	麻酔薬動態学	1・2前or後	4	1	1				
	疼痛制御学	1・2前or後	4				1		
	細胞浸潤学特論	1～2通	12	1	1				
	口腔腫瘍学	1・2前or後	4	1	1				
	口腔顎顔面外科学	1・2前or後	4				2		
	臨床口腔微生物学	1・2前or後	4				2		
	血液情報発信学特論	1～2通	12	1					
	集中治療医学	1・2前or後	4	1					
	重症患者管理学	1・2前or後	4	1					
	救命救急医学	1・2前or後	4	1	1				
がん プロ フェ ッ シ ョ ナ ル 医 養 成 科 目	国際がん治療学特論	1～2通	12	+	+				担当教員の変更 (29) 担当教員の異動に伴う変更 (28)
	高度がん外科治療学	1・2前or後	4	+	+				担当教員の変更 (29) 担当教員の異動に伴う変更 (28)
	腫瘍分子診断学	1・2前or後	4	1					
	がんの先進光子線治療学	1・2前or後	2	1					
	スピリチュアルケア論	1・2前or後	2			1			
	腫瘍薬物学特論	1前or後	1	1					
	腫瘍放射線医学特論	1前or後	1	1					
	がん緩和医療学特論	1前or後	1			1			
	腫瘍病理学特論	1前or後	1	1					
	臨床腫瘍学特論	1前or後	1	1					
	がん外科学特論	1前or後	1	1					
	腫瘍薬物学演習	1前or後	1	1					
	腫瘍放射線医学演習	1前or後	1	1					
	がん緩和医療学演習	1前or後	1			1			
腫瘍病理学演習	1前or後	1	1						
がん外科学演習	1前or後	1	1						
認 知 症 ブ ロ フ ェ ッ シ ョ ナ ル 医 養 成 科 目	認知症基礎	1・2前or後	1			1			
	認知症候学	1・2前or後	1			1			
	認知症検査・診断学	1・2前or後	1			1			科目名の誤記による修正 (28)
	認知症治療・予防学	1・2前or後	1			1			科目名の誤記による修正 (28)
	認知症ケア・リハビリ・地域支援・倫理	1・2前or後	1			1			
	認知症各論 I	1・2前or後	1			1			
	認知症各論 II	1・2前or後	1			1			
	認知症特論	1・2前or後	2			1			
	認知症診断・治療学演習 I	1・2前or後	1			1			
	認知症診断・治療学演習 II	1・2前or後	1			1			
	認知症診断・治療学演習 III	1・2前or後	1			1			
認知症診断・治療学演習 IV	1・2前or後	1			1				
地域認知症疫学・予防・ケア実習	1・2前or後	3			1				
認知症・神経難病の臨床病理実習	1・2前or後	3			1				
メ デ ィ カ ル ・ イ ノ ベ ィ シ ョ ン 人 材 養 成 科 目	メディカル・イノベーション演習	3・4前or後	2			1			
	インターンシップ	3・4前or後	2			1			
	実践英語	1・2前or後	2			1			

国際医療 人養成科 目	先端医科学・薬学セミナー	1・2前or後	2	+					兼1 担当教員の変更 (29)
	環境と健康各論	1・2前or後	2	+					兼1 担当教員の変更 (29)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
1 科目	283 科目	0 科目	284 科目	1 科目	289 科目	0 科目	290 科目	
				[ ]	[ 6 ]	[ ]	[ 6 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{284} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	739,888㎡	㎡	㎡	739,888㎡			
	運動場用地	103,704㎡	㎡	㎡	103,704㎡			
	小 計	843,592㎡	㎡	㎡	843,592㎡			
	そ の 他	1,723,183㎡	㎡	㎡	1,723,183㎡			
	合 計	2,566,775㎡	㎡	㎡	2,566,775㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
		283,184㎡ ( 283,184㎡)	㎡ ( ㎡)	㎡ ( ㎡)	283,184㎡ ( 283,184㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
		149室	243室	818室	10室 (補助職員 人)	8室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		先進予防医学研究科 先進予防医学共同専攻			22 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		視聴覚資料	機械・器具	標 本	全て大学全体での共用分
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	点	点	点	
	先進予防医学共同専攻	1,891,674 〔677,445〕 (1,891,674〔677,445〕)	36,060〔14,388〕 (36,060〔14,388〕)	8,399〔6,598〕 (8,399〔6,598〕)	8,096 (8,096)	8,608 (8,608)	129 (129)	
	計	1,891,674 〔677,445〕 (1,891,674〔677,445〕)	36,060〔14,388〕 (36,060〔14,388〕)	8,399〔6,598〕 (8,399〔6,598〕)	8,096 (8,096)	8,608 (8,608)	129 (129)	
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		20,510㎡		2,164	1,618,222			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体	
		5,871㎡		可動屋根付プール(1,193㎡) 弓道場(162㎡)				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	-	-	図書購入費	-	-	
	共同研究費等	-	-	設備購入費	-	-	-	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。



#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	金 沢 大 学							備 考
既設学部等の名称	修業年限	入 学 員 定 員	編入学員 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
人間社会学域								
人文学類	4	145	-	580	学士 (文学)	1.04	平成20年度	金沢市角間町
法学類	4	170	3年次 10	700	学士 (法学)	0.98	平成20年度	金沢市角間町
経済学類	4	185	-	740	学士 (経済学)	1.00	平成20年度	金沢市角間町
学校教育学類	4	100	-	400	学士 (教育学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町
地域創造学類	4	80	-	320	学士 (地域創造学)	1.03	平成20年度	金沢市角間町
国際学類	4	70	-	280	学士 (国際学)	1.06	平成20年度	金沢市角間町
理工学域								
数物科学類	4	84		336	学士 (理学)	1.03	平成20年度	金沢市角間町
物質化学類	4	81		324	学士 (理学・工学)	1.04	平成20年度	金沢市角間町
機械工学類	4	140	学域 共通 3年次 40	560	学士 (工学)	1.05	平成20年度	金沢市角間町
電子情報学類	4	108		432	学士 (工学)	1.04	平成20年度	金沢市角間町
環境デザイン学類	4	74		296	学士 (工学)	1.05	平成20年度	金沢市角間町
自然システム学類	4	102		408	学士 (理学・工学)	1.07	平成20年度	金沢市角間町
				80		1.05		
医薬保健学域								
医学類	6	112	2年次 5	697	学士 (医学)	1.00	平成20年度	金沢市宝町13-1
薬学類	6	35	-	210	学士 (薬学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町
創薬科学類	4	40	-	160	学士 (創薬科学)		平成20年度	金沢市角間町
保健学類								
看護学専攻	4	80	3年次 10	340	学士 (看護学)	1.01	平成20年度	金沢市小立野5-11-80
放射線技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	0.98	平成20年度	金沢市小立野5-11-80
検査技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	0.92	平成20年度	金沢市小立野5-11-80
理学療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	0.82	平成20年度	金沢市小立野5-11-80
作業療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	0.84	平成20年度	金沢市小立野5-11-80

教育学研究科												
教育実践高度化専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	平成21年度	金沢市角間町	平成28年度より 学生募集停止			
人間社会環境研究科												
人文学専攻	2	23	-	46	修士 (文学・学 術)	0.80	平成24年度	金沢市角間町				
法学・政治学専攻	2	8	-	16	修士 (法学・政 治学)	0.25	平成24年度	金沢市角間町				
経済学専攻	2	8	-	16	修士 (経済学・ 経営学・学 術)	1.06	平成24年度	金沢市角間町				
地域創造学専攻	2	8	-	16	修士 (地域創造 学・学術)	0.75	平成24年度	金沢市角間町				
国際学専攻	2	8	-	16	修士 (国際学・ 学術)	1.06	平成24年度	金沢市角間町				
人間社会環境学専攻	3	12	-	36	博士 (社会環境 学・文学・ 法学・政治 学・経済 学・学術)	1.27	平成18年度	金沢市角間町				
自然科学研究科												
数物科学専攻	2	56	-	112	修士 (理学・学 術)	1.02	平成24年度	金沢市角間町				
物質化学専攻	2	57	-	114	修士 (理学・工 学・学術)	1.14	平成24年度	金沢市角間町				
機械科学専攻	2	90	-	180	修士 (工学・学 術)	1.23	平成24年度	金沢市角間町				
電子情報科学専攻	2	67	-	134	修士 (工学・学 術)	1.21	平成24年度	金沢市角間町				
環境デザイン学専攻	2	40	-	80	修士 (工学・学 術)	0.87	平成24年度	金沢市角間町				
自然システム学専攻	2	67	-	134	修士 (理学・工 学・学術)	1.12	平成24年度	金沢市角間町				
数物科学専攻	3	15	-	45	博士 (理学・学 術)	0.71	平成16年度	金沢市角間町				
物質化学専攻	3	14	-	42	博士 (理学・工 学・学術)	0.42	平成26年度	金沢市角間町				
機械科学専攻	3	25	-	75	博士 (工学・学 術)	0.70	平成26年度	金沢市角間町				
電子情報科学専攻	3	18	-	54	博士 (工学・学 術)	0.61	平成16年度	金沢市角間町				
環境デザイン学専攻	3	10	-	30	博士 (工学・学 術)	1.40	平成26年度	金沢市角間町				
自然システム学専攻	3	21	-	63	博士 (理学・工 学・学術)	0.57	平成26年度	金沢市角間町				
システム創成科学専攻	3	-	-	-	博士 (工学・学 術)	-	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より 学生募集停止			
物質科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学・工 学・学術)	-	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より 学生募集停止			
環境科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学・工 学・学術)	-	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より 学生募集停止			
生命科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学・学 術)	-	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より 学生募集停止			

医薬保健学総合研究科								
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	0.63	平成24年度 金沢市宝町13-1	
医学専攻	4	64	-	128	博士 (医学)	0.90	平成28年度 金沢市宝町13-1	
脳医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	平成24年度 金沢市宝町13-1	平成28年度より 学生募集停止
がん医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	平成24年度 金沢市宝町13-1	平成28年度より 学生募集停止
循環医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	平成24年度 金沢市宝町13-1	平成28年度より 学生募集停止
環境医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	平成24年度 金沢市宝町13-1	平成28年度より 学生募集停止
創薬科学専攻	2	38	-	76	修士 (創薬科学)	1.06	平成24年度 金沢市角間町	
創薬科学専攻	3	11	-	33	博士 (創薬科学・学術)	0.90	平成24年度 金沢市角間町	
薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学・学術)	0.93	平成24年度 金沢市角間町	
保健学専攻	2	70	-	140	修士 (保健学)	0.87	平成24年度 金沢市小立野5-11-80	
保健学専攻	3	25	-	75	博士 (保健学)	1.09	平成24年度 金沢市小立野5-11-80	
先進予防医学研究科								
先進予防医学共同専攻	4	12	-	24	博士 (医学)	1.12	平成28年度 金沢市宝町13-1	
法務研究科								
	3	15	-	45	法務博士 (専門職)	0.53	平成16年度 金沢市角間町	
教職実践研究科								
教職実践高度化専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	1.03	平成28年度 金沢市角間町	
(注意) 課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は、専攻・コース別にも記入してください。(履修上の区分として専攻・コースを設けている場合は記入は不要です。)								
(注意) 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。								

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

< 医薬保健学総合研究科医学専攻（博士課程） >

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	華山 力也 ( )	平成28年 4月	基礎系領域融合 セミナー	兼任				基礎系領域融合セミナー	H28年4月 H27年6月採用に伴う教員配置の変更(29)
専	教授	柴 和弘 ( )	平成28年 4月	学際センター セミナー	兼任				学際センター セミナー	H28年4月 担当教員の異動に伴う教員配置の変更(29)
専	准教授	若山 友彦 ( )		組織発生分化学	専	教授	井関 尚一 ( )	平成28年 4月	組織発生分化学	H28年4月 平成27年3月31日退職に伴う 担当教員の変更(29)
専	教授	櫻井 武 ( )		分子神経科学・統合 生理学特論 神経可塑性機能論 神経回路発達学	専	准教授	三枝 理博 ( )	平成28年 4月	分子神経科学・統合 生理学特論 神経可塑性機能論 神経回路発達学	H28年4月 平成27年3月31日退職に伴う 担当教員の変更(29)
専	教授	吉本 谷博 ( )		分子情報薬理 学特論 細胞シグナル 伝達学	専	准教授	小川 和宏 ( )	平成28年 4月	分子情報薬理学特論	H28年4月 平成27年7月31日退職に伴う担当教員の変更(29) 細胞シグナル伝達学は他に担当する教員 がいるため支障ない。
					専	准教授	小川 和宏 ( )	平成28年 4月	細胞シグナル伝達学	H28年4月 平成27年7月31日退職に伴う変更(29) 細胞シグナル伝達学は他に担当する教員 がいるため支障ない。
					専	教授	安藤 仁 ( )	平成28年 4月	細胞分子機能学特論	H28年4月 専任教員の追加及び教育内容充実 のための科目の追加(29)
専	講師	大谷 郁 ( )		細菌感染症制御学 特論 細菌遺伝学 国際細菌感染症学					細菌感染症制御学特 論 細菌遺伝学 国際細菌感染症学	H28年4月 平成27年7月31日退職に伴う変更(29) 授業は他に担当する教員がいるため 支障ない。
					専	准教授	笠原 寿郎 ( )	平成28年 4月	呼吸器内科学特論	H28年4月 教育内容充実のため科目の追加(29)
					専	准教授	伏田 幸夫 ( )	平成28年 4月	消化管外科・腫瘍学特 論	H28年4月 教育内容充実のため科目の追加(29)
					専	講師	八幡徹太郎 ( )	平成28年 4月	リハビリテーション医学特 論	H28年4月 教育内容充実のため科目の追加(29)
専	教授	並木幹夫 ( )		集学的治療学特論 がん温熱療法 がん遺伝子治療学 国際がん治療学特論 泌尿器内科学 高度がん外科治療学	専	准教授	溝上 敦 ( )	平成28年 4月	集学的治療学特論 がん温熱療法 がん遺伝子治療学 泌尿器外科学 国際がん治療学特論 高度がん外科治療学	H28年4月 平成28年3月31日退職に伴う変更(29)
専	教授	佐藤 博 ( )	平成28年 4月	分子腫瘍学特論	兼任	教授	大島 正伸 ( )	平成28年 4月	分子腫瘍学特論	平成29年3月31日退職に伴う 担当教員の変更(29)
兼任	教授	土屋 弘行 ( )	平成28年 4月	研究倫理	専	教授	山本 靖彦 ( )	平成28年 4月	研究者として自立するために を配置(29)	教育内容の見直しによる科目名の変更 教育効果向上のため専任教員の を配置(29)
					専	教授	塚 正彦 ( )	平成28年 4月	研究者として自立するために を配置(29)	教育内容の見直しによる科目名の変更 教育効果向上のため専任教員の を配置(29)

兼担	教授	柴 和弘 ( )	平成28年4月	学際センター セミナー	専	教授	大黒 多希子 ( )	平成28年4月	学際センター セミナー	教育効果向上のため専任教員の を配置 (29)
専	教授	井関 尚一 ( )	平成28年4月	組織発達構築学 特論 細胞増殖調節学 組織発生分化学	専	講師	仲田 浩規 ( )	平成29年4月	組織発達構築学特論 細胞増殖調節学 組織発生分化学	平成29年3月31日退職のため専任教員 の追加。(29)
専	准教授	岡本 安雄 ( )	平成28年4月	血管情報伝達学 特論 血管増殖調節学					血管情報伝達学特論 血管増殖調節学	平成29年7月31日退職 授業は他の担当教員がいるため 支障はない。(29)
専	准教授	三枝 理博 ( )	平成28年4月	分子神経科学・統合生理 学特論 神経可塑性機能論 シナプス機能解析学 神経回路発達学		教授			分子神経科学・統合 生理学特論 神経可塑性機能論 シナプス機能解析学 神経回路発達学	平成29年2月 昇任(29)
専	教授	華山 力也 ( )	平成28年4月	免疫生体防御学 特論	兼担				免疫生体防御学特論	担当教員の所属を誤記に よる修正(29)
					兼担	教授	町田 宗仁 ( )	平成29年4月	国際保健学特論	教育内容充実のための科目の追加(29)
					専	教授	松井 三枝 ( )	平成29年4月	臨床認知学特論	専任教員の追加及び教育内容充実 のための科目の追加(29)
					専	准教授	香田 渉 ( )	平成28年4月	画像診断治療学特論	教育効果向上のため専任教員 を追加(29)
兼担	教授	絹谷 清剛 ( )	平成28年4月	バイオレーザー診療学 特論 バイオレーザー測定技 術学 臨床腫瘍核医学 がん親和性放射線薬品 学 バイオレーザー画像解 析学 バイオレーザー情報処 理学	専				バイオレーザー診療学特 論 バイオレーザー測定技術 学 臨床腫瘍核医学 がん親和性放射線薬品学 バイオレーザー画像解 析学 バイオレーザー情報処 理学	他研究科から専任教員に配置(29)
兼担	教授	和田 隆志 ( )	平成28年4月	血液情報統御学 特論 臨床検査学 細菌検査学 内分泌診断学	専				血液情報統御学特論 臨床検査学 細菌検査学 内分泌診断学	他研究科から専任教員に配置(29)
専	講師	林 康彦 ( )	平成28年4月	脳・脊髄機能制御 学特論 臨床神経内分泌学	准教授				脳・脊髄機能制御学特 論 臨床神経内分泌学	平成28年8月 昇任(29)
専	准教授	溝上 敦 ( )	平成28年4月	集学的治療学特論 がん温熱療法学 がん遺伝子治療学 泌尿器外科学	教授				集学的治療学特論 がん温熱療法学 がん遺伝子治療学 泌尿器外科学	平成28年8月 昇任(29)
				国際がん治療学特論 高度がん外科治療学	専	教授	矢野 聖二 ( )	平成28年4月	国際がん治療学特論 高度がん外科治療学	担当教員の変更(29)
専	准教授	高倉 正博 ( )	平成28年4月	分子情報学 分子動態学	専	講師	中村 充宏 ( )	平成28年4月	分子情報学 分子動態学	平成29年 3月31日退職 担当教員の異動に伴う変更(29)
専	教授	堀 修 ( )	平成28年4月	先端医科学・薬 学セミナー	兼担	教授	平尾 敦 ( )	平成28年4月	先端医科学・薬学セ ミナー	担当教員の変更(29)
専	教授	堀 修 ( )	平成28年4月	環境と健康各論	兼担	教授	市村 宏 ( )	平成28年4月	環境と健康各論	担当教員の変更(29)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
32 名	- 名	28 名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
44	33	29	0	106						46 42	31 32	26 25	0	103 99
(44)	(33)	(29)	0	(106)	45 42	31 32	26 25	0	102 99	[2] -[Δ2]-	[Δ2] -[Δ1]-	[Δ3] -[Δ4]-	[0]	[Δ3] -[Δ7]-
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
44	62	0			45 42	57	0			46 42	57	0		
(44)	(62)	0								[2] -[Δ2]-	[Δ5]	[0]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
  - ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1		該当なし				

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1		該当なし				
合計 (C)			後任補充状況の集計 (D)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
		必修	科目	必修	科目	必修
						選択
						自由
		計	科目	計	科目	計
						計
						科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
		必修	科目	必修	科目	必修
						選択
						自由
		計	科目	計	科目	計
						計
						科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
該当なし			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）



## 7 その他全般的事項

### <医薬保健学総合研究科医学専攻（博士課程）>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

##### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

医薬保健総合研究科会議を設置

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成28年	4月	6日	第1回研究科会議開催（委員 59名中 46名出席）
平成28年	5月	9日	第2回研究科会議開催（委員 59名中 49名出席）
平成28年	6月	1日	第3回研究科会議開催（委員 59名中 41名出席）
平成28年	7月	6日	第4回研究科会議開催（委員 59名中 49名出席）
平成28年	9月	7日	第5回研究科会議開催（委員 60名中 45名出席）
平成28年	10月	5日	第6回研究科会議開催（委員 60名中 46名出席）
平成28年	11月	2日	第7回研究科会議開催（委員 61名中 37名出席）
平成28年	12月	7日	第8回研究科会議開催（委員 61名中 45名出席）
平成29年	1月	4日	第9回研究科会議開催（委員 61名中 55名出席）
平成29年	2月	1日	第10回研究科会議開催（委員 62名中 44名出席）
平成29年	3月	1日	第11回研究科会議開催（委員 62名中 55名出席）

##### c 委員会の審議事項等

- (1) 中期目標・中期計画及び年度計画に関する事項
- (2) 規程その他の教育に係る重要な規則の制定又は改廃に関する事項
- (3) 教育に係る予算の執行に関する事項
- (4) 教育課程の編成に関する事項
- (5) 学生の円滑な修学等を支援するために必要な助言、指導その他の援助に関する事項
- (6) 学生の入学又は課程の修了その他学生の在籍に関する事項及び学位の授与に関する事項
- (7) 教育の状況について自ら行う点検及び評価に関する事項
- (8) 授業の内容及び方法の改善を図るための研修及び研究の実施に関する事項
- (9) その他教育に関する重要事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・他大学の教員による「医学教育の分野別質保証」等に関する講演会及び教育方法改善のための専門的知識を高める講演会を開催

b 実施方法

- ・対面式の講演会及びテレビ会議システムを利用した他大学と合同での講演会を実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・合計22回実施しており、「医学教育の分野別質保証」に関する講演会の教員の参加者は約90名であった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・今後も引き続き学内外でのFD活動を行い授業改善等に取り組む。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・平成28年7月及び平成29年1月に受講者10名以上の授業（各2科目）で実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・アンケートを実施した2科目についてグラフにまとめ掲示により公開した。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

入学定員充足、施設整備、教員配置、カリキュラム設計など、設置計画どおりに達成している。FD活動や授業評価アンケートなどをもとに、カリキュラムのブラッシュアップ・充実を図っている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

未定

b 公表方法

未定

③ 認証評価を受ける計画

未定

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

（ 有 ・ 無 ）

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

（平成29年7月（予定））